特定非営利活動法人　不忘アザレア

2014-2015 シーズン　　安 全 報 告 書

ご　挨　拶

2015 シーズンも、みやぎ蔵王白石スキー場をご利用いただき誠にありがとうございました。

オープン当初より、積雪に恵まれ、沢山のお客様をお迎えすることが出来、事故なく過ごせましたことを感謝しております。

2016 シーズンも安全第一を旨にシーズンを迎えたいと思います。さらに青少年の健全育成に取り組む活動としてのスキー教室の継続をしたいと思います。

今シーズンは、A コース拡張やクワッドリフトのリニューアルにより、沢山の皆様により良い環境でお楽しみいただけるかと思います。

あらためて、みやぎ蔵王白石スキー場に関わるすべての人が同じ安全意識を持ち、お客様に安心してご利用いただけるスキー場作りを致します。

特定非営利活動法人　不忘アザレア

理事長　　木村　孝

安全方針について

もとより白石スキー場でも安全に関する規定はありましたが、平成 18 年 10 月 1 日の鉄道事業法の改正を受け、安全に対する意識をより高める意味から「安全管理規定」を作成し運用しています。

「輸送の安全を確保するための基本理念」

1.一致協力して積極的に安全運行に取り組みます。
2.「運転取扱細則」・「係員服務規程」等、法令及び規定をよく理解するよう努め、誠実に職務を遂行します。
3.職務の遂行にあたり、確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをします。
4.事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに「緊急体制要領」に基づき、適切な処置をとります。
5.常に問題意識を持ち、情報は漏れなく迅速・正確に伝え、透明性を確保します。

上記の基本理念を実行するため、安全輸送の管理体制や索道施設の保守及び運行の管理の方法を作成し安全管理規定に記しております。これらはすべて利用者の安全を確保するものであると同時に、私達働く側も安全な作業を行うための大切な規定なのです。

安全に対する取り組み

シーズン前に、理事会及び白石スキー場従事員研修において「不忘アザレア安全管理規定」を説明し、輸送の安全の確保に必要な事業の実施と管理を行っております。
＊スキー場オープン前の 12 月 17 日・18 日に全職員（職員・期間雇用者）及びアルバイトに安全研修会及び救助訓練を実施、不忘アザレア安全管理規定他を説明致しました。
＊始業前に毎朝ミーティングを行い、気象状況からリフトの状態・人員配置の確認及び安全に関する情報の交換等を行い、各担当リフトの始業点検を行いました。
＊シーズン中、理事長及び理事よる巡回点検を行い、各リフトの安全確認及び状況を点検しました。

シーズン前の安全教育だけに留まらず、シーズン中もスキースクールスタッフと合同で救助訓練を実施します。

（安全講習会の様子）

（救助訓練の様子）

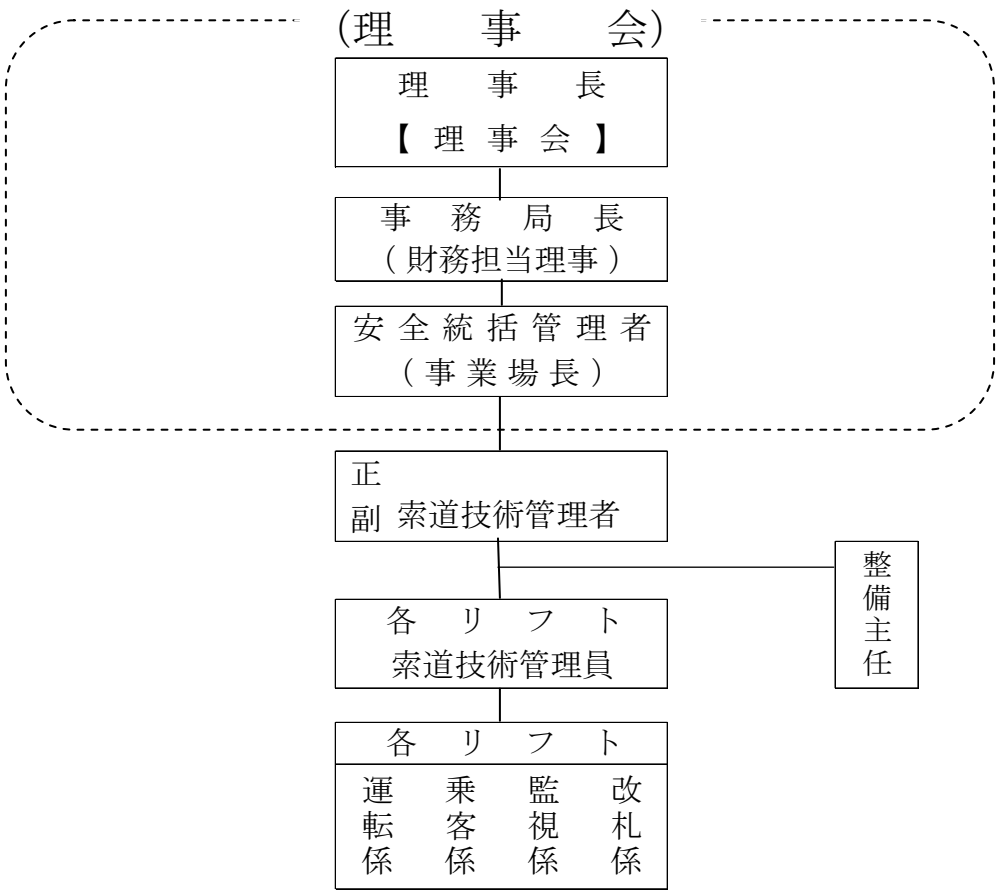
（避難訓練の様子）

（消防訓練の様子）

安全に関する組織体制

白石スキー場では、理事長から各リフト係員まで積極的に安全運行に取り組むため安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

白石スキー場の特殊索道に関する組織体制図



理　事　長 【 理 事 会 】	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
事 務 局 長 【財務担当理事】	輸送の安全の確保に必要な設備投資・人事・財務に関する業務を統括する。
安全統括管理者 【事業場長】	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上の事項に関する業務を統括する。
索道技術管理員	索道技術管理者の職務を補佐する。